

文化財一覧

(令和5年3月31日現在)

＜凡例＞
 有=有形文化財 工=工芸品 記=記念物 天=天然記念物 有民=有形民俗文化財
 建=建造物 古=古文書 史=史跡 重=重要文化財 無民=無形民俗文化財
 絵=絵画 考=考古資料 名=名勝 指=指定文化財
 彫=彫刻 歴=歴史資料 旧=旧跡 登=登録文化財

地区	番号	区分	種類	ふりがな 名称	所在地
桜井	1	市指	有古	だいだいのしゅいんじょう 代々の朱印状	平方249 (林西寺)
	//	市指	有歴	どんりゅうしょうにんくようぼせき 吞龍上人供養墓石	//
	2	市指	有彫	あんこくじのえんくうぶつ 安国寺の円空仏	大泊910 (安国寺)
	//	市指	有彫	もくそうあみだにょらいりゅうそう 木造阿弥陀如来立像	//
	//	市指	有古	かんちこくししよじょう 観智国師書状	//
	3	県指	無民	しもまくりのししまゆ 下間久里の獅子舞	下間久里 (香取神社)
4	市指	有民	だいるくてんのえんがく 第六天の算額	下間久里 (個人蔵)	
5	市指	有民	「かんのんどうのえんにちふうけい」えま 「観音堂の縁日風景」絵馬	大泊104 (大泊観音堂)	
6	市指	記天	もりけのいちょう 森家のイチョウ	平方 (個人蔵)	
新方	7	市指	有彫	もくそうあみだにょらいざそう 木造阿弥陀如来坐像	大松60 (清浄院)
	//	市指	有彫	もくそうあみだにょらいざそう 木造阿弥陀如来坐像	//
	//	市指	記史	しよじょういんかいざんぶか 清浄院開山塚	//
8	県指	無民	きたかまきのむしおひ 北川崎の虫追	北川崎 (川崎神社)	
9	市指	記天	しよじょういんかいざんぶか 聖徳寺のイチョウ	北川崎18 (聖徳寺)	
増林	10	県指	有彫	もくそうでんしようかんのんぼさざそう 木造伝正観音菩薩坐像	増林3818 (林泉寺)
	//	市指	有彫	もくそうあみだにょらいりゅうそう 銅造阿弥陀如来立像	//
	//	市指	有工	りんせんじのこうろ 林泉寺の香炉	//
	//	市指	記天	りんせんじこまどめまき 林泉寺駒止のマキ	//
	11	市指	有考	ぶんめいさんねんじゅうざんぶつたひ 文明3年十三仏板碑	増林2687 (勝林寺)
	12	県指	有考	にじゅういちぶつたいしとうば 廿一仏板石塔婆	増森 (個人蔵)
	13	市指	記天	なかむらけのいちょう 中村家のイチョウ	東越谷 (個人蔵)
	14	市指	有絵	さいとうとよさくいさく「ふうけい」 斎藤豊作遺作「風景」	東越谷4-9-1 (市立図書館)
//	市指	有絵	ちようぶんさいえいしひつ「かわらねためいず」 鳥文齋米之筆「瓦曾根溜井図」	//	
//	市指	有古	にしきたむらきゆうき 西方村旧記	//	
大袋	15	市指	有考	じよじろくねんしちじだいむくいたひ 貞治6年七字題目板碑	大道 (個人蔵)
	16	市指	有歴	いちじょういんのたてく 一乗院の建具	三野宮618 (一乗院)
	17	市指	有歴	さんのみやうのすけめいのちからいし 三ノ宮卯之助銘の力石	三野宮333 (香取神社)
荻島	18	国重	有彫	もくそうじそうぼさつりゅうそう 木造地藏菩薩立像	野島32 (浄山寺)
	//	市指	有工	のじまじよさんじのおおわにぐち 野島浄山寺の大罎口	//
	//	市指	有古	じよじろくねんしちじだいむくいたひ 浄山寺の朱印状	//
出羽	19	市指	有古	じりょうきんしんしゅいんじょう 寺領寄進朱印状	宮本町2-54 (迎福院)
	20	市指	有彫	もくそうあだしちざえもんふうぶざそう 木造会田七左衛門夫婦坐像	七左町7-278 (観照院)
	21	市指	有彫	さいふくいんのえんくうぶつ 西福院の円空仏	谷中町3丁目 (西福院)
	22	市指	有歴	あいたけれきだいのぼしよ 会田家歴代の墓所	神明町 (個人蔵)
	23	市指	有歴	こしぎまかんでんのあひしやさいわいしよ 越巻中新田の産社祭礼帳	新川町 (個人蔵)
	24	国登	有建	おおまのちようきゆうなむらけじゅうたく 大間野町旧中村家住宅 ※6棟 (主屋・納屋・土蔵・石蔵・長屋門・御蔵社)	大間野町 1-100-4 (登録名称は旧中村家住宅)
蒲生	25	市指	有彫	もくそうじそうぼさつりゅうそう 木造地藏菩薩立像	瓦曾根1-5-43 (照蓮院)
	//	市指	有歴	きゆうみんきゆうさいのひ 窮民救済の碑	//
	//	市指	記旧	せんとくまるくようとう 千徳丸供養塔	//
	26	県指	記史	がもうのいちりづか 蒲生の一里塚	蒲生愛宕町11 (蒲生愛宕町自治会)
	27	市指	有歴	せいせういんのさんもん 清蔵院の山門	蒲生本町13-41 (清蔵院)

■作成協力 NPO 法人越谷市郷土研究会 宮川進・篠原陸郎・渡辺和照
越谷市広報ボランティアスタッフ 川島健司

地区	番号	区分	種類	ふりがな 名称	所在地	
川柳	28	市指	記天	たなかけのくすのき 田中家のクスノキ	川柳町 (個人蔵)	
	大相模	29	市指	有建	だいにしよじのさんもん 大聖寺の山門	相模町6-442 (大聖寺)
		//	市指	有古	ほつじょううじしげおきてがき 北条氏繁提書	//
		//	市指	有歴	とくがわいえずのやぐ 徳川家康の夜具	//
		//	市指	記天	だいにしよじのたぶのき 大聖寺のタブノキ	//
		30	市指	有考	じようおろにねんこうしんとう 承応2年庚申塔	大成町 (個人蔵)
		31	市指	有考	てんもんじじゅうにねんみださんそんずせういたひ 天文22年弥陀三尊佛像板碑	//
	32	市指	有考	ぶんなんさんねんくくじみょうごういたひ 文和3年六字名号板碑	//	
	33	市指	記史	みかたたいせき 見田方遺跡	見田方遺跡公園周辺	
	34	市指	有考	にじゅういちぶつたいしとうば 廿一仏板石塔婆	東町5-238	
35	市指	記天	なかむらけのくすのき 中村家のクスノキ	大成町 (個人蔵)		
36	市指	有建	きゆうひがしかむらなむらけじゅうたく 旧東方村中村家住宅	レイクタウン9-51		
大沢	37	市指	有彫	かよりじんじやのちようこく 香取神社の彫刻	大沢3-13-38 (香取神社)	
	38	市指	有古	ほんじんしりょういつかつ(ふくいけんじよ) 本陣資料一括 (福井家文書)	大沢 (県立文書館寄託)	
越ヶ谷	39	県指	記旧	ひらたあつたねかぐらうあと 平田篤胤仮寓跡	越ヶ谷1700 (久伊豆神社)	
	//	県指	記天	ひさいずんじのふじ 久伊豆神社のフジ	//	
	//	市指	有工	かけぼとけ 懸仏	//	
	//	市指	有歴	ひらたあつたねほうのうおおえま 平田篤胤奉納大絵馬	//	
	//	市指	有歴	さんのみやうのすけめいのちからいし 三ノ宮卯之助銘の力石	//	
	//	市指	記史	こしがやござんくひ 越谷吾山句碑	//	
	//	市指	記名	ひさいずんじやしゃせう 久伊豆神社社叢	//	
	40	市指	記天	らくうしよウ ラクウシヨウ	越ヶ谷2563-1 (越谷アリタキ植物園)	
	41	市指	有彫	もくそうしやかよらにねほんそう 木造釈迦如来涅槃像	越ヶ谷2549 (天獄寺)	
	//	市指	有歴	こしがやござんくようぼせき 越谷吾山供養墓石	//	
42	市指	有考	けんじようがんねんいたひ 建長元年板碑	御殿町		
43	市指	記旧	こしがやござんあと 越ヶ谷御殿跡	御殿町		
44	市指	有古	いびげんざんせしよ 伊奈備前差添書	越ヶ谷本町 (個人蔵)		
45	市指	記天	ありたきけのたぶのき 有瀧家のタブノキ	中町 (個人蔵)		
46	市指	記天	せんげんじんじやのけやき 浅間神社のケヤキ	中町7 (浅間神社)		
47	市指	有歴	こしがやじんせいいかんれんしりょう 越ヶ谷順正会関連資料	越ヶ谷4-2-1 (越谷市役所)		
48	国登	有建	きのしたはんすけしよ 木下半助商店	中町 (個人蔵)		
北越谷	49	国登	有建	※4棟 (店舗及び土蔵・主屋・ 石蔵・稲荷社) きゆうおおのけじゅうたく 旧大野家住宅	越ヶ谷本町 8-8 (はかり屋(古民家複合施設))	
	50	(国登)	(有建)	※2棟 (主屋・土蔵) つづぎごうじやくら 都築家靴屋蔵 ※登録見込み (令和5年3月 文化審議会答申)	越ヶ谷本町 3-29	
	51	市指	有彫	どうせうごちにょらいりゅうそう 銅造五智如来立像	北越谷4-8-5 (浄光寺)	
	52	市指	有彫	こふくいんのえんくうぶつ 弘福院の円空仏	北越谷1-21-26 (弘福院)	
		国指	記天	こしがやのしらこぼと 越ヶ谷のシラコボト	越谷市周辺	
		市指	無民	こしがやのきやうた 越ヶ谷の木遣歌		

■編集・発行 越谷市教育委員会生涯学習課 埼玉県越谷市越ヶ谷4-2-1 Tel.964-2111 (代表)
令和5年3月発行 (第3号)

こしがやの文化財

～歩いて、観て、学ぶ郷土の歴史～














最新情報は市HPに掲載中
二次元コードから
↓アクセスできます。

越谷市教育委員会

- 38 **ほんじんしりょういつかつ(ふくいけんじよ)**
本陣資料一括 (福井家文書) 市指定
 安永9年(1780年)から越ヶ谷本陣を務めた大沢町の大松屋福井家七代当主である福井猷貞が著述した、大沢・越ヶ谷の地誌である『大沢猫の爪』『越ヶ谷瓜の蔓』や、交通史料集『往還諸御用留』等。資料の一部は翻刻して『越谷市史4』に収録されている。
- 39 **かけぼとけ**
懸 仏 市指定
 表面は富士山をかたどった銅板で、裏面には「富士山内院御正鉢南無浅間大菩薩、上野介満範印当、本書応永三十三年(1426年)六月一日、干時文明八年(1476年)六月一日」との銘文がある。
- 39 **ひらたあつたねほうのうおおえま**
平田篤胤奉納大絵馬 市指定
 「天之岩戸開」の大絵馬で、文政3年(1820年)7月9日、画工山里貞由、平田篤胤の銘がある。平田篤胤は越ヶ谷の「おりせ」を後妻とし、しばしば越ヶ谷を訪れていた。
- 42 **けんじようがんねんいたひ**
建長元年板碑 市指定
 建長元年(1249年)銘のもので、市内では最古で最大のものである。阿弥陀如来を表す「キリーク」という梵字が本尊として刻まれており、高さ155cm、幅56cmである。
- 43 **こしがやござんあと**
越ヶ谷御殿跡 市指定
 徳川家康鷹狩り時の宿泊所として慶長9年(1604年)につくられた御殿。もとは土豪会田出羽の陣屋であったが家康の求めによりこの地を差し上げたといわれる。規模は現御殿町一帯のおよそ6ヘクタールである。明暦3年の大火による江戸城消失の際、二の丸再建の資材として江戸城へ移されたといわれる。
- 47 **こしがやじんせいいかんれんしりょう**
越ヶ谷順正会関連資料 市指定
 国民健康保険法施行以前に発足した、疾病者救済を目的とした保険制度による組織「越ヶ谷順正会」の関連資料。『創立の動機と日誌』『経過書』、順正会旗、及び国民健康保険法施行10周年にあたる昭和23年に建立された「相扶共済」の石碑からなる。
- 51 **どうせうごちにょらいりゅうそう**
銅造五智如来立像 市指定
 享保3年(1718年)から5年(1720年)にかけて奉納され、製作者は江戸の鋳物師太田駿河守正儀。大日・薬師・阿弥陀・闍・釈迦は5つの智を授ける仏として五智如来と称されている。
- 52 **こふくいんのえんくうぶつ**
弘福院の円空仏 市指定
 釈迦如来坐像(像高40.0cm)である。肉髻をあらわし、通肩に衣をまとい、膝の上で右手を下にして左右の手を重ねて印を結び、蓮台上に座す。